

通信かがやき



令和5年度 第4号
令和5年 6月27日

太田小学校発達障害・情緒障害通級指導教室「かがやき」

あじさい 紫陽花や 昨日の^{まこと}誠 今日^{うそ}の嘘 正岡 子規

梅雨に入り、じめじめした日が続きますが、中庭には紫陽花が鮮やかに咲いています。子規の俳句のように紫陽花と言えば、「移り気」「無常」などいい意味で使われませんが、花(花びらに見えるのはガクだそうです)が集まっている様子から「団結」「友達」「元気な女性」などの花言葉もあります。雨の中咲く紫陽花、私はの花言葉「家族愛」が気に入っています。

7月のグループ学習

一学期末のグループ学習は、予定を変更して、

7月3日(月) 13:30-15:00

2年生・3年生のグループ学習・保護者懇親会

7月6日(木) 14:35-16:05

3年生・5年生 グループ学習・保護者懇親会

で行います。特に、5年生は、「自然の教室」準備についても学習します。



体調を整え、元気に過ごそう

太田小学校の夏休みは7月22日から8月28日までとなります。

「かがやき」に通うお子さんの中には、自分の体調を自分で管理するのが苦手なお子さんがあります。夏休みは、規則正しい生活づくりを通して自信をつけさせ、お子さんの自立をうながす良いチャンスです。朝起きたら、「おはようございます」、顔を洗う、寝ていた時の服を着替える、朝ご飯を食べる、ことが大切です。当たり前と思ってもできたら認めほめ、習慣にしてあげてください。

早寝、早起き、朝ごはんの習慣化をすすめる

メディア(テレビゲーム、SNS、ユーチューブなど)に触れる時間の管理をする

こともあわせ、お子さんが万全な体調で2学期を迎えられるよう、健康に留意してください。

2学期のかがやき 8月31日スタート 保護者面談週間開始

2学期始業式は8月29日、「かがやき」の指導は31日(木)からとなります。よろしくお願ひします。

2学期の指導開始に合わせて保護者面談を行い、家庭で過ごした夏休み中の子どもたちの様子や2学期が始まったの学校での様子をお聞きします。指導時間の中で行いますので、保護者の方はお子さんの指導時間に合わせて必ずおいでください。週2回指導の方は、どちらを面談日にするか「かがやきファイル」あるいは、電話でお知らせください。

人とかかわる力を夏休みの生活でつちかう

夏休みは、学校を離れ、家庭でお子さんと同じく向き合う機会が多い時です。また、普段接しない人と過ごす機会も多い時です。お子さんの実生活に必要な社会性を育てるよい機会です。

幼児期1歳から2歳にかけては、自我・自己主張の芽生えの時期と言われ、何事も「自分でやりたい」と思う時期です。子どもは、自我意識の芽生えとともに、自己主張が強くなり、好き嫌いや、やりたいこととやりたくないことなどがはっきりしてきます。発達に特性のあるお子さんの中には、この時期に手がかからなかったのに小学校になってから感情のコントロールが上手くできず困るというケースがあります。そのような場合、どうしたらよいでしょう。

① ときには、わがままに付き合い、子どもの自我形成を手伝う

反抗する子どもに感情的に接しない。なぜ「いや」なのかを考えて共感してあげます。子どもは自分の欲求が受け入れられると満足感を得ることができます。

② 決定権の誤解をさせない

子どもの主張や要求をすべて受け入れていると「何でも自分で決められる」と誤解してしまいます。「誰が決めるのか」をはっきり伝え、大人の決定に合わせられる子に育てます。

「お母さんが決めます」⇒ 他者の確認 「いいですか？」

「だめ」といわれてやめられるように努め、泣き騒ぐなど激しい自己主張に負けないことです。ぶつかり合うからこそ他者を確認することができます。

③ 身の回りのことを教える、一緒にする

身の回りのこと、例えば着替え、マナーを守って食べる、お風呂場を洗う、荷物を片づける等が自分でできるようになる。「自分で!」の気持ちが育つことで自信になり、自立心へつながります。

④ 大人の要求にこたえる体験をつむ

自分の要求を一方的に出すだけではなく、相手の要求に応じて行動することは、コミュニケーションの土台となります。②と合わせ、人に従って行動できることも大事なライフスキルです。

⑤ 二分法（白黒思考）できない判断基準を教える。

「まだ子ども、もう大人」のようにマルとバツの間のグレーゾーンがあることや、ほめ方にもいろいろあることを経験させていくことです。

「惜しい」「もう少し」のようにあいまいな判断基準が苦手な子がいます。「ちょっと待って」がどれくらい待つのか分からず待てない子どももいます。最初は、「5分待ってね」から「5分から10分待ってね」「この用事が終わるまでちょっとまってね」というように、具体的な時間から次第に幅を持たせた言い回しにしていくとよいでしょう。

○ 参考文献

「人とかかわる力を伸ばす-社会性が幼い子への援助法-」 一松 麻実子 著 鈴木出版